

# 札幌鮓研究会



札幌鮓研究会  
20周年記念誌  
**KIZAHASHI**

一步、一步、…そして二十年。



20年の歳月に  
尊敬と感謝の意を込めて…



The 20th chairman greeting

札幌鮨研究会20周年おめでとうございます。

最初に、記念すべき年に会長に就任させて頂き、諸先輩そして会員の皆様に心からお礼申し上げます。

今年度は、全国大会・特別20周年事業『SUSHI! 美味求真のつどい』という大きな行事がありました。無事終わることが出来ましたのも会員皆様の結束力の強さと、事務局長・幹事長ほか役員皆々様のお陰と心より感謝の意を表します。

私と鮨研とのつながりは、ある意味立ち上げの勧誘の時からでしょうか…?

珍しく父が「寿司を食べに行くよ」と私を誘ってくれて、たくさん食べられると思い喜んでついていくと、「言われたものを黙って食べてなさい」と言われ、鮭10貫・はまち10貫(あのころは勘八を置いているお店が少なかったような)を私はひたすら食べていました。父はというと、その間、一生懸命店主を勧誘していました。その次の出会いは真駒内アイスアリーナで、雨の中での寿司販売です。声を嗄らしていたら、豊田さんがコーヒーと一緒に「少し休憩して」と優しい声をかけてくださいました(皆さん優しかったです。あんなにお寿司は残っていたのに…).その後は5年前ですか、中村さんが会長の時に参加させて頂き、その時は福士さんに「男になれ!!(違う意味ではたくましくなりました)」、そして「色々学びなさいよ」という諸先輩の声と共に、その時に札幌鮨研究会に対する皆さんの熱い思いをお聞きしました。

記念すべき20周年の年の会長経験一。残りわずかの任期ですがしっかりと務め、北海道の寿司文化の発展と継承に必ず役立てるとお約束致します。そして札幌鮨研究会の発展の為、微力ですが今後もお手伝いさせて頂きますので宜しくお願い致します。

平成15年11月30日

札幌鮨研究会20代目会長 富永裕美

昭和61年11月26日  
**札幌鮨研究会発会式**  
 《於:札幌パークホテル》



**札幌鮨研究会  
発会式**

札幌鮨研究会

日時：昭和61年11月26日㈬ PM1:00  
 場所：札幌パークホテル

**お礼のことば**

本日は札幌鮨研究会の発会式にご参集下さいましたこと深く感謝申し上げます。またこの機会に、これまでお世話になりました方々に感謝の意を表すために、お詫びの言葉を贈らせて頂きました。誠に心よりお詫び申し上げます。本日はまたよろしくお願いいたしました。同時に、本日の開催にあたりて多くの方々がお見え下さいました。誠に心よりお詫び申し上げます。また、本日の開催にあたりて多くの皆様がお見え下さいました。誠に心よりお詫び申し上げます。また、本日の開催にあたりて多くの皆様がお見え下さいました。誠に心よりお詫び申し上げます。また、本日の開催にあたりて多くの皆様がお見え下さいました。誠に心よりお詫び申し上げます。また、本日の開催にあたりて多くの皆様がお見え下さいました。誠に心よりお詫び申し上げます。また、本日の開催にあたりて多くの皆様がお見え下さいました。誠に心よりお詫び申し上げます。また、本日の開催にあたりて多くの皆様がお見え下さいました。誠に心よりお詫び申し上げます。

札幌鮨研究会  
 所長会員及川敬之



All the past chairman name

札幌鮨研究会の歴代会長

1983年《昭和58年》	初代／富永洋矢(東寿し)
1984年《昭和59年》	二代目／今井 嶽(金寿司)
1985年《昭和60年》	三代目／竹田 佐登志(すし処 たけ田)
1986年《昭和61年》	四代目／及川敬之(寿しの及川)
1987年《昭和62年》	五代目／嶋宮 勤(すし善)
1988年《昭和63年》	六代目／豊田由夫(柳寿し)
1989年《昭和64年》	七代目／宍戸弘志(寿し元 南店)
1990年《平成 2年》	八代目／福士四郎(鮓の福長)
1991年《平成 3年》	九代目／菅原宅穂(仲寿し)
1992年《平成 4年》	十代目／寺田年勝(勝烹)
1993年《平成 5年》	寺田年勝(勝烹)
1994年《平成 6年》	十一代目／佐藤裕一(鮓栄)
1995年《平成 7年》	十二代目／山川稔弘(みどり寿し)
1996年《平成 8年》	十三代目／丸岡富造(すし丸)
1997年《平成 9年》	十四代目／中村勝俊(おたる政寿司 すすきの店)
1998年《平成10年》	十五代目／宮本 博(あさひ鮓)
1999年《平成11年》	十六代目／船引孝司(久米鮓)
2000年《平成12年》	十七代目／長谷川誠一(いちずし)
2001年《平成13年》	十八代目／工藤俊一(帆掛鮓)
2002年《平成14年》	十九代目／中村全博(おたる政寿司 本店)
2003年《平成15年》	二十代目／富永裕美(東寿し)

# 会 鮨 研 則

会  
鮨  
研  
則

会  
鮨  
研  
則

## 【第1章／総 則】

(名称及び事務所)

第1条 本会は、札幌鮨研究会と称し事務所を札幌市中央区南7条西3丁目 おたる政寿司すきの内に置く。

(組織)

第2条 本会は、札幌圏に於いて鮨業店舗を構える経営者、及び此に準ずる者を以て組織する。

(目的)

第3条 本会は、会員相互の親睦と会員の振興発展を図るを以て目的とする。

## 【第2章／事 業】

(事業)

第4条 本会は、第3条の目的を達成するために次の事業を行う。

第1項／毎月1回の例会を開き会員相互の親睦を通じて、ここでの教養の向上を図る。

第2項／その他、本会の目標達成の為、必要と認める事を行う。

## 【第3章／会 員】

(資 格)

第5条 本会の会員は、札幌圏内に於いて鮨業を営む経営者、及び此に準ずる者で、会員2名の推薦をうけ、役員会の承認たる者と名誉会員で構成する。名誉会員については、名誉会員規定を準用する。

第1項／会員の種類、本会の会員は正会員と名誉会員を以て構成される。

第2項／会員証の貸与、及び返還、本会の会員証は正会員にのみ貸与し、会員の資格を喪失した時は速やかに返還しなければならない。

第3項／平成12年以前に入会した会員については、退会時に会員証の費用をした会員については、退会時に会員証の費用を会員に返却しなければならない。

(除 名)

第6条 次の各号に該当する会員は、総会の議決によって除名することができる。

(1)会費が六ヶ月以上著しく滞った場合。

(2)本会の信用を著しく損ねた者。

(3)副幹事長は幹事長を補佐し、幹事長に事故のあるときは代理する。

(4)会計幹事は会計事務を行う。

(5)監査は会計事務を監査する。

(6)企画委員長は本会の年間行事の全般を企画立案し役員会に上程する。

## 【第4章／役 員】

(役 員)

第7条 本会に次に掲げる役員を置く

(1)会長…1名

(2)副会長…2名

(3)幹事長…1名

(4)副幹事長…3名

(5)会計幹事…1名

(6)副会計…1名

(7)監査…2名

(8)企画委員長…1名

(役員の選出)

第8条 会長は総会において会員より選出する。但し、役員は会長の指名により、会員の承認を得て認証する。

(任 期)

第9条 会長の任期は、1年とする。但し、再任は認めないものとする。他の役員の任期は1年とする。但し再任は拒まない。

(役員の職分)

第10条 役員の職分は次に掲げるものとする。

(1)会長は本会を代表し、会務を統理し、及び会議の議長となる。

(2)副会長は会長を補佐し、会長に事故のあるときは代理する。

(3)副幹事長は幹事長を補佐し、幹事長に事故のあるときは代理する。

(4)会計幹事は会計事務を行う。

(5)監査は会計事務を監査する。

(6)企画委員長は本会の年間行事の全般を企画立案し役員会に上程する。

## 【第5章／役員会の招集】

第11条 本会の役員会は、必要に応じ隨時開催する事ができる。

## 【第6章／総 会】

(総 会)

第12条 総会は通常総会及び臨時総会とする。

(総会の召集)

第13条 本会は、通常総会を年1回開催する。

第14条 会長が必要と認めた時、又は役員会及び会員の過半数の要請あるときは、臨時総会を開催することが出来る。

(総会の議案事項)

第15条 次に掲げる事項は、総会の議決を経なければならぬ。

(1)解 散

(2)役員の選任

(3)規約の改定及び会費の改定

(4)除 名

(総会の議事)

第16条 総会は、会員の3分の1以上の出席がなければ、議事を開いて議決することが出来ない。

(1)この場合において、書面又は代理人によって議決権行使する会員は主席した者とみなす。

(2)総会の議事は、出席者の議決権の過半数で決し、可否同数の時は議長の決するところによる。但し、解散については総会員の半数以上が出席し、その議決権の3分の2以上の多

数による議決を必要とする。

(3) 総会においては、出席した会員の3分の2以上の同意を得たときに限り、あらかじめ通知のあった事項以外事項についても議決することが出来る。但し、本会の解散についてはその限りではない。

### 【第7章／会計】

#### (会計年度)

第17条 会計年度は毎年4月1日より始まり、翌年3月31日を以て終わる。

#### (会費)

第18条 本会の会費は1ヶ月3000円とし、毎月本会の銀行口座へ振り込み又は毎月の例会時に持参の上支払うものとする。

#### (会計)

第19条 会計報告は通常総会に提示して、承認を得なければならない。

第20条 慶弔規定は別に定める。

第21条 会員が退会の場合、退会日以前の会費は返還しないものとする。

第22条 新入会員の入会金は10,000円とする。

### 【第8章／退会】

#### (退会)

#### 第23条

本会の会員は、次の場合に退会したものとみなす。

(1) 会長より退会する旨の申し出があり、未納会費を完納した上で役員会で承認を得た場合。

(2) 会員が死亡したとき。

(3) 会員が除名されたとき。

(1) この場合において、書面又は代理人によって議決権を行使する会員は主席した者とみなす。

(2) 総会の議事は、出席者の議決権の過半数で決し、可否同数の時は議長の決するところによる。但し、解散については総会員の半数以上が出席し、その議決権の3分の2以上の多数による議決を必要とする。

(3) 総会においては、出席した会員の3分の2以上の同意を得たときに限り、あらかじめ通知のあった事項以外事項についても議決することが出来る。但し、本会の解散についてはその限りではない。

### 【第9章／名誉会員規則】

第24条 当会を15年以上在籍し、貢献度が高く、代替り、退会(第23条(1)項による退会)で正会員資格を喪失した者で役員会の推薦で、承認を得た者。

第25条 名誉会員は会費を免除されるが議決権は有しない。

第26条 名誉会員は参加当日に要した実費のみを負担することとする。

第27条 第25条、第26条以外は正会員の規定に準ずる。

### 【第10章／オブザーバー会員規則】

第28条 正会員及び名誉会員の紹介があれば資格を問わず誰でも本会の行う事業及び例会に参加する事ができる。

第29条 オブザーバーを紹介する会員は事前に事務

局へ届け出の義務を要す。

第30条 オブザーバーは参加当日に要した実費のみを負担することとする。

### ※附 則

1、本会側は昭和62年4月12日より実施する。この会則を定めるもののほか、事業の執行、その他の必要となる事項は、役員会の議決を経て別に定める。

2、本会則の第2条及び第5条の改正案並びに第9章、第10章の追加条例が平成2年4月29日総会に於いて可決され同日より実施される。

3、本会則の第25条の改正案が平成8年4月21日総会に於いて可決され同日より実施される。

4、本会則の第1条の改正案が平成12年4月23日総会に於いて可決され同日より実施される。

5、本会則の下記の条項の改正案が平成13年4月29日総会に於いて可決され同日より実施される。第2条・第5条・第5条の第1項・第2項・第3項・第6条の(1)・第7条の(2)(4)(7)を修正／(6)を追加従来の(6)(7)が順おりで(7)(8)／第8条・第10条の(3)(6)修正／第24条～第29条削除／第24条～第27条追加／第30条以後が第28条より始まる。

6、本会則第18条の改正案が平成15年4月26日総会に於いて可決され同日より実施される。

### ■慶弔規定

正会員が次の各号に該当の場合はそれぞれ慶弔金を呈する。

#### 第1条

会員の死亡／5万円と花輪

#### 第2条

会員の開店／3万円と花輪(但し、鮨業店舗のみとする。)

#### 第3条

(1) 会員の結婚／3万円と祝電  
(2) 会員の子の結婚／1万円と祝電

#### 第4条

会員の一親等の死亡(両親・子供・妻)／1万円と花輪

#### 第5条

会員及び会員の配偶者の出産祝い／1万円

#### 第6条

(1) 会員の病気見舞い／1万円  
(2) 会員の配偶者の病気見舞い／1万円

#### 第7条

会員が災害を被った場合の災害見舞金

(イ) 全焼の場合／5万円  
(ロ) 半焼及び近火の場合、会員の判断にゆだねるものとする。

1、本慶弔規定は昭和62年4月12日より実施する。

2、一部改正の上、平成2年4月29日総会に於いて可決され同日実施される。

2、一部改正の上、平成13年4月29日総会に於いて可決され同日実施される。



会員の声 鮓研、活動の思い出

昭和58年6月、ホテル東急インで発会式の事を思い出し、あらためて月日の流れの速さに思い至りました。

私が40歳の時の事です。開業して10年が過ぎ、毎日の仕事に追われながらも精神的にも多少の余裕が出て來たところでもありました。15歳でこの道に入り、東京での修行を思い出すと、北海道出身の私にとっては冷たく淋しい思いの連続でした。しかし元来負けん気の強い私は、将来必ず札幌に帰り、日本中に轟く寿司店と北海道鮨文化の確立を心に誓っていました。鮨の経験も25年目を迎えて、鮨組合の役員として業界の将来の事を考えるようになり、そんな時に思い出したのが『温故知新』の文字でした。『昔の物事を研究し、そこから新しい知識や見解を得る』。この精神を語り合う仲間を作ることの大切さを真剣に考えるようになり、そんな事を中央支部の先輩と話し合ううちに、21世紀に向かって鮨業界、改革の旗手を目指して、新しい鮨文化の発信源となる会を、この札幌に創ろうという事になったのです。

以来10周年、20周年の記念には全国大会を開催し、恵方巻、各ボランティア活動、特に『全米桜まつり』は札幌鮨研究会の皆さんのお協力なしでは到底成し遂げられない行事だと思います。そして全国的にも例を見ない、50人で握る『美味求真』の会など数をあげるときりがない程です。

この度、20周年を迎えるに当たり、初代会長・富永洋矢様の御長女・裕美様が会長を務める事は、伝承が立派に継承されている証しでもあります。肝心な業界の改革は一歩ずつ、また半歩ずつのようにしか進んでいないような気がしますが、すしを握る以外に我が人生を生かす道のない人達の集まりですので、手を取り合い、悔いのない人生を送ろうではありますか。最後に御支援と御指導くださった方々に心より感謝を申し上げますと共に、会員の皆様の御健勝と御繁栄を心より祈念申し上げます。

すし善 嶋宮 勤

昭和58年に発会して早20年。当時45歳だった私も65歳になり、年月の過ぎるのが早く驚いております。家族会で行った海水浴、ライオンズクラブと合同のボランティア活動、発会式の祝賀会を東急インで行った事など、様々な思い出が脳裏に焼き付いています。

札幌鮨研究会という名のもとに始まり、初めは遊びのような集まりでしたが、皆で色々な活動を行っていくうち勉強になる事が多々あったように思います。

私は参加できませんでしたが、約10年ほど前に、一度『暖簾供養祭』を行いました。このような行事は是非とも続けていただきたいと願っています。

私も最長老になり、これから若い人達がこの会をどのように推し進めて行くのか、楽しみに思っております。

金寿司 今井 嶽

振り返れば20余年前、近所に店を構える同業者同士が道で顔を合わせても挨拶もしないような時代がありました。これでは鮨業界の人材・技術の育成に歯止めがかかるどころか、北海道の鮨文化も成長しないのではないか。そう思い立ち、「同業仲間を作ろう」「横の繋がりを持とう」と富永さん、今井さん、嶋宮さんと共に鮨組合の青年部を立ち上げました。

このような思いで発足した鮨研も時代の流れには逆らえず、景気の低迷に比例して年々仲間が減少してきております。しかし、この現実をじっくりと受け止め、地に足をしっかりとつけて、これからも背伸びすることなく身の丈に合った活動をしていきましょう。そして後継者にも鮨研の心と粋を継承し、末長く続く会にしたいと思っております。

鮨栄 佐藤裕一

札幌鮨研究会、発足20周年おめでとうござい  
ます。

この20年間で最も印象に残っているのは、平成10年に富山で行われた全国大会です。毎年、各地で開催される全国大会は、市街地にあるホテルのコンベンションホールなどを会場にしていますが、その日バスに揺られて着いた先は山の上、標高1930メートルの弥陀ヶ原ホテルでした。そして式典が終わり、立食パーティーが始まったとき、厳かにカーテン幕が開けられました。すると大きな窓いっぱいに広がっているのは、なんと雲。更に雲の向こうには立山連峰が猛々しくも美しい姿を連ねてあります。私は目の前の絶景に言葉を失い、「この式典は雲上で行われたのだ。今、我々は雲の上にいるのだ…」と感動にひたりました。

あのときの絶景と思いは、今でも忘れることが出来ません。

このような素晴らしい体験を通し、人生に感動を与えてくれる鮨研は、私にとって何にもかえがたい大切なものです。若い仲間には勇気をもらい、良い仲間たちには力をいただきます。厳しいときも大変なときも、この会があるから頑張っていけると思っています。

今後も活発に活動し、鮨を通じて人のために役立てる鮨研であるよう祈念し、お祝いの言葉をいたします。



鮨の福長 福士四郎

## 弥陀ヶ原ホテル

標高 1930M



私たち寿司業に携わる者は、様々な面で大変です。お客様との対面商売だけに、対話ひとつとっても気を使わなくてはなりません。でも、旨いものを食べていただいた時に、お客様が見せてくれる笑顔は大きな支えです。

さて鮨研は20年の歳月を過ごしてきましたが、これは会員一同の協力の賜物だと思っております。

昭和58年に札幌鮨商青年会として会は発足しました。東寿し・富永氏、すし善・嶋宮氏、かん八・私とその他の者による若手経営者で、何か勉強の場をもたなければいけないと話題がきっかけでした。私も仲間に入れて頂き大変楽しく過ごしておりましたが、富永氏は病に倒れ非常に残念に思っております。そして心身共に健康で仕事が出来る自分は大変幸せ者だと、つくづく感じています。

これまで東京・京都など、各地で行われた鮨研の全国大会に参加し、楽しい想い出がたくさん出来ました。我々は勉強になり、若手会員にとっては良いチャンスだと思っています。

これからも皆様方と末長く、会のさらなる発展のために協力させて頂きます。

すし処たけ田 竹田佐登志

1990年6月—。1992年度の大会は是非札幌で、と全国鮨研究会大阪大会にて立候補し決定されました。当初、全国大会を札幌で開催するのはまだ荷が重すぎるのでは、との危惧もありましたが、富永洋矢さん、嶋宮さんが先頭に立ち全会員が協力して、札幌鮨研究会の存在を示すために立候補することになりました。

1991年6月—。金沢大会に会員16名が出席し、翌年の札幌大会をアピールしました。

1992年3月—。東京にて打ち合わせ。

1992年5月—。京都・名古屋にて打ち合わせ。

1992年5月31日(日)午後10時より、柳寿し広間一。全会員出席して最終打ち合わせ。

1992年6月3日、京王プラザホテル—。全会員が出席しました。午前9時集合、正午開場、午後1時開会、午後6時懇親会、午後8時エンペラーにて2次会。

回想—。

昔の手帳を見ながら原稿を書いてますが、当時は皆若かった、元気があった、団結力があった、楽しかった。手帳には毎日のようにスナックの名前が2~3軒書いてあり、一緒に飲んだ会員の名前も載っています。皆と会って話しをするのが楽しかったです。大会当日の記憶は定かではありませんが、一人一人の顔と、あのとき何をしていたのかは思い出せます。20周年記念全国大会の成功は、富永裕美会長はじめ、幹事のご苦労と会員の協力の賜物ですね。幹事諸君の打ち合わせがいかに多かったのかは、カラオケがうまくなっていることからもわかります。札幌鮨研の志しは20年経ってもまだ健在です。

札幌鮨研究会10周年記念全国大会会長  
豊田由夫

朝夕めっきり冷え込む今日この頃になりました。

現在の札幌鮨研究会の発足にあたっては、平成元年3月、富永洋矢・今井・佐藤・嶋宮の四氏が当店においてになり、札幌にも鮨研究会を作ろうという相談を受けました。まだその当時は現在のようにインターネットのない時代でしたが、嶋宮先生は全国各地の鮨屋の状況を常に把握しておられ、我々鮨研のために詳しい資料を提供してくださいましたことを覚えております。

20年という長い年月をかけ初心を貫き、現在のような中身の濃い充実した鮨研に至っておりますが、残念ながら鮨研の会員は年々減りつつあります。しかし福士四郎先生の助言もあり、会費の改正等良い状態に改革が進んでいるのではないかと思います。長い年月の間には、会員ならびにご家族の方の悲しい知らせもありましたが、数多くの楽しい思い出も残っております。今後も更なる鮨研の発展を心から願っておりますと共に、ご指導の程お願い申し上げます。

寿し元 南店 宮戸弘志

Recollections  
of the  
Sapporo sushi study group  
activity

鮨研20年の思い出は沢山あります。その中でも、鮨研の発会式や真駒内アイスアリーナで行われたライオンズアジア大会での鮨折の販売、また会員の家族の海水浴などが特に印象に残っています。

さて、今日の商売のことですが、皆様ご周知のように景況感も回復し、プラス方向へ転じているようです。しかし我々の業界にはまだ光明が見えていないのが実情です。

このような状況でも、時流や景気に左右されることなく、皆様と共に着実に、かつ希望を持って努力していきたいと思います。

最後に、創設当初より会のためにご尽力いただいた富永さんが、長い闘病生活から早く回復されることを願っております。

寿しの及川 及川敬之

Recollections  
of the  
Sapporo sushi study group  
activity

まずもって、札幌鮨研究会20周年を迎えることに会員として心から喜んでいますと同時に、初代会長の富永さん、いつもご指導いただいた嶋宮さん、今井さんをはじめ、多くの先輩たちと会員の皆様、お手伝いくださった皆様、いろいろと関わってきた商社の皆様に感謝いたします。

私は14代目の会長を務めさせていただきました。この会を通じていろいろな勉強をさせていただきました。すし屋として、経営者として、調理人として、そしてひとりの男として自分の人生の生き方をこの会から学んでいます。

これからも当会が日本の鮨文化の新しい情報リーダーとして、また熱い鮨文化のリーダーに成長する会になりますよう、心から祈念いたします。会員の皆様、どうかよろしくお願ひいたします。

おたる政寿司 すすきの店 中村勝俊

私は第16代目の会長を務めさせていただきました。私が会長になるに当たっては、前会長の宮本さんの策略にはまつたように思います（悪い意味ではありません）。宮本さんが会長になるとき「久米さん、副会長に名前だけ貸してくれないか」と頼まれ、「ああ、名前だけならいつでもいいよ」と、その時は何も考えずに受けました。しかし、次期会長には前年度の副会長が就任するということになっていたようなのです。

私はたくさんの人たちの前で話しをするのが大の苦手でしたが、1年間会長職を務めさせていただき、大変勉強になりました。特に若い執行部の方々に支えられ、何とか1年間、無事、大任を果たすことが出来ました。ありがとうございます。

現在は会員数が少なく、これから執行部になられる方々は大変なことだと思いますが、25周年、30周年に向かって、若手の方々も頑張ってください。出来る限り、後ろから応援いたします。

久米鮨 船引孝司

札幌鮨研究会が札幌で産声をあげて20年。私はこの会を創設してくださった諸先輩の方々に、この記念誌の場をお借りして心から「ありがとうございます」と言わせていただきたいと思います。そしてこれからも公私共にご指導の程よろしくお願ひ致します。

今、歴代会長名簿を見ながら、自分は鮨研に入会して何年になるだろうと考え、「そうか…、もう自分も17年目になるんだな」と思いつつ、この17年の間に何があつたどうと天井をじっと見つめて色々な事を思い出しています。振り返れば自分が会長を務めていた時に会員皆さんに助けてもらった事、飲みながら夢を語った事など様々な思い出があります。頭の中で映画の予告編のようにスライドしているこれら沢山の思い出を回想すると、けっこう楽しいんですね。しかし、いざ原稿に向かって文字にするという事は、とても難しいものだなと思っております。

まず入会したきっかけですが、今でもあの時の事は忘れられません。確か夕方の4時頃だと思いますが、店に富永さん、嶋宮さん、竹田さん、豊田さんの4名がいらっしゃって入会を勧めてくださいました。しかし当時はまだ開業して3年目でしたので、妻と2人で店を軌道に乗せることで頭がいっぱいでした。ですからその時は丁重にお断りした次第ですが、その夜、妻と相談しました。そして東京から札幌に来て右も左も分からず山鼻に出店し、なんとか3年が経ちましたが、これから札幌の事を知るために、この会に入会して色々な事を教えていただか必要があるのではないか、とても良いチャンスではないのかと話し合い、後日、会に入会をお願いしましたところ、気持ち良く入会を認めていただきました。目の前の霞が取り除かれたような、あの時の気持ちは今でも忘れられません。

入会してからは、ボランティア活動、勉強会、忘年会、新年会、ボーリング大会、ゴルフコンペ、京都大会、そして今年の札幌大会など、鮨研の会員の団結力をひしひしと感じながら本当にたくさんの活動を行ってきました。中でも一番印象に残っているのは京都大会です。会長として出席し、大変緊張しておりましたが、嶋宮さん、中村兄さん、富永裕美さんに頼もしく助けてもらい、安心できることを覚えていました。嶋宮さんに京都の夜を案内していただきましたが、初めてのお茶屋さんに舞子さん。まさに竜宮に来ているような気分で、浦島太郎になったような気持ちでした。更に川上さんでの日本料理は今でも忘れることは出来ません。その時の経験は、店のトイレや玄関先を直すきっかけになりました。鮨研に入会していたからこそ実現したのだと思っております。

是非!この素晴らしい札幌鮨研究会を札幌と小樽に限らず、全道の鮨店に広めていいはいかがでしょうか。そのためにも札幌で若い経営者の会員を増やし、若い板前達がなんらかの形で参加できるようなシステムを皆さんで考え、若い人達にこの会の思いを継承していきたいと思います。

この20周年記念式典に当たって、富永会長をはじめ、山田幹事長、そして執行部の方々、本当に御苦労様でした、ありがとうございました。20周年は我々にとっては通過点です。日本の素晴らしい食文化である寿司を守るだけではなく、皆さんのちょっとした、たわいないアイデアが、その店の大きな改革になります。これこそまさに鮨研が掲げている温故知新の精神なのです。これからもよろしくお願い致します。

帆掛鮨 工藤俊一

Recollections  
of the  
Sapporo sushi study group  
activity

私が鮨研究会の仕事に関わるようになってから、たくさんの行事に参加しました。いろいろな出来事があり、大変勉強をさせていただきました。その中でも特に印象に残っているのは、今年の行事のひとつ、フードランド北海道2003『SUSHI! 美味求真のつどい』です。50名の職人で500名分の寿司を握り、お客様に「美味しい!」と言っていただき、その笑顔で私達は疲れも忘れてしまうほどでした。

大和屋 原 良一

私が鮨研に入会したのは1986年だと記憶しています。  
最初のころ花見会があり、紅桜公園で食事を取り、その後で俳句を書いた思い出があります。札幌鮨研の10周年、20周年と記念行事にも参加させていただき、大変ありがとうございました。

これからも微力ながら参加していきたいと思っております。  
鮨研がこれから益々発展していくことを、仲間のひとりとして願っております。「ガンバッテ行こう!」…以上です。

鮨かね 谷口弘一

「驚いたなー」。

初めて鮨研の忘年会に出席して、緊張のまま懇親会を迎えた私。キレイな女性がいるなと思ったら、なんとその人は男性ではありませんか。そのような人が世の中にいるということは知っていましたが、ホント驚きました。その後、歓談を経て懇親会が終わる頃には、全員で樽の一気回し飲み。私も乗るほうですので一気に飲みました。メンバーも一流の人ばかりで、こんな素晴らしい会はないと思いました。それが私の鮨研のスタートで、以来、楽しく、学びの多い会だと実感している次第です。昨年、会長を務めさせていただきましたが、思うように貢献出来なかつたことを悔やんでいます。しかし、「北に札幌鮨研あり!」という誇りを今後とも全国に発信していただきたいと思っております。札幌鮨研万歳!

おたる政寿司 中村全博

札幌鮨研究会に入会させていただいて15年目を迎えました。鮨研に入りたいと思った一番の理由は、業界の先駆者で、人間として、経営者としても魅力のある嶋宮さんへの憧れからでした。嶋宮さんには、いつの日にも親しくおつき合いさせていただき感謝しております。自分の生活の身近なところに信頼と尊敬の出来る人物がいる事は、最高に幸せなのだと思います。

厳しい時代ですが、人生は努力しただけの事は、きっと約束してくれると信じて、日々の積み重ねが大切なのだと思います。鮨研も初代の富永会長、そして20年後の今年は娘さんの裕美ちゃんが、親子2代でリーダーシップをしっかり發揮して素晴らしいなあ、と思います。鮨研のメンバーは個性も豊かで、主体性があり、何事にも前向きに取り組む姿勢が素晴らしいと思います。記憶に新しいのは9月21日に20周年記念事業として開催された、フードランド北海道2003『SUSHI! 美味求真的つどい』です。会場の熱気に負けないくらいの結束力は、本当に凄いと感じました。21世紀も北海道の寿司文化に対する情熱と夢に向かって走り続けたいですね。

日本橋 中井 蔚



やはり一番心に残っているのは、14年前の入会して初めての忘年会ですね。名のあるお店の方々と一堂に会するのも初めてでしたし、そんな場に同席できる喜びと緊張で大変でした。

同期で入会した関口さん、伏見さん、近藤さんと「お互いにおしゃくし合うのはやめよう!」と話し合ったのは覚えているのですが、宴会とゲーム大会が終わり2次会の途中からは、まったく記憶がなくなっていました。ハッと気が付いたらスッポンポン。それからというもの、宴会で裸にならずにいられない性格になってしまいました。責任って…(?)。

後は何かあるたびに発揮される、全員のフットワークと団結力には行事の度に感心しました。

これからも全員が健康で楽しく、もっと繁栄する鮨研でありますように!

すし屋のやま田 山田 弘

今から約14年前の忘年会から当会に入会させて頂いた若造も、いつのまにか47歳になろうとしております。新会員も増え、中堅になろうとしているのですが、遅々として成長の跡が見えず、皆様には御迷惑のかけ通しで深く反省しております。ただ、今回初めて当会の20周年記念事業に当たる『フードランド北海道～美味求真のつどい～』では、当会員の結束力の堅さと信頼感の強さに驚くと同時に、あらためてその中に自分も居られた事に感激致しました。これからも会の為に貢献出来る人間になっていきたいと思います。諸先輩方の努力の結晶、札幌鮨研究会! 成人おめでとうございます!

Recollections  
of the  
Sapporo sushi study group  
activity

すし関 関口 博

鮨研全国大会北海道大会の時、会計の私は釣り銭の用意をはじめ、いかにスムーズな受け付けをするかということなどをいろいろ考えていました。そしていよいよ当日、最初に受け付けを済ませたのは京都の方々でした。準備もバッタリ、張り切って合計金額を請求すると、すでに旅行代理店に支払ったとのこと。当日の通帳記帳の際、入金はありませんでしたから想像もしませんでした。結局、旅行代理店のミスと分かりましたが、初っぱなからつまずき、私の小さな心臓は壊れそうでした。

睦鮨 武山睦夫

それは6年前のことになります。月に一度集まる小樽寿司屋通り会にいつものように参加した際、すでに札幌鮨研究会の会員であった『おたる政寿司』の中村社長と『小樽日本橋』の中井社長が、「アメリカのワシントンDCで毎年行われている全米桜祭りに行き、慣れない会場で寿司を握ってきた。とても良い思い出になった」とお話ししてくださったのです。このことがきっかけで、翌年私は、森理事長と嶋宮社長を中心とする全国すし環境衛生同業組合、全米桜祭りボランティアに参加することになりました。

全米桜祭りでは、札幌鮨研究会の『すし善』嶋宮社長、『鮨の福長』の福士のおやっさん、『すし屋のやま田』の山田さんに出会うことになり、お世話にもなりました。そしてこの年の全米桜祭りレセプションで、嶋宮さんがアメリカの各マスコミに「私たちの握る寿司は、あなたのために握ります」と名セリフを残したのを覚えています。今では温故知新に次ぐ、札幌鮨研究会のスローガンにまでなり、あらためてこの祭りに参加したことが、大変意義深いものであったと思っています。その後、日本に戻ってから、札幌鮨研究会への入会のお誘いをありがとうございました。

20周年という長い歴史の中で、入会してまだ5年と短く、毎年数回しか例会に参加できない私ですが、先輩である札幌鮨研究会の会員の方々との出会いが、現在の店の全ての基盤になっているのは事実です。これからもこの会を通しての出会いを、自己発展・自己改革へと繋げていき、将来の店の安定と信頼に役立たせる気持ちで、楽しく、そして長く参画していきたいと思っております。

まちの寿司 町野太郎

右も左も分からぬまま札幌鮨研究会に入り、1年が経ちました。最初は会合のたびに緊張の連続でしたが、回を重ねるうちにやっと慣れてきたごろです。

思い出の行事としては、何と言っても忘年会が忘れられません。あんなに楽しく大騒ぎをし、良い思い出になったものはありませんでした。また『SUSHI! 美味求真のつどい』も心に残っています。500名のお客さまに50名の職人ですしを作る一大行事となり、段取りは大変でしたが、鮨研の皆様の団結力、行動力、チームワークの良さに感心し、大変勉強になりました。その上、いらっしゃったお客様にも大変喜んでくださいました。鮨研の基本理念を目指し、これからも10年、20年と皆様と共に楽しく過ごしたいと思います。

すし屋のさい藤 齋藤 明

自分はこの札幌鮨研究会に入れていただいて、まだ2年です。思い出はおろか右も左も分からないまま必死で皆様の後についてただけで、振り返るには日が浅すぎます。そこで、これからのことと鮨研に対する個人的な想いを書くことにします。

『福長』の福士さんのおかげで鮨研に入れていただきましたが、鮨研は入会する前から、いわば『憧れ』の会で、まさか自分のような若造にお声が掛かるとは思っていませんでした。今考えると失礼な事かもしれません、あちこちのおすし屋を勉強のつもりで訪ねては、壁に掛かっている会員の木札に訳もわからず憧れていたのです。「きっとすごい研究をしているのだろう、いつかはうちも!」と考えておりました。鮨研の看板は名店の証として燐然と輝く『金看板』で、お仲間に入れていただいた今、その想いはますます強くなっています。『背筋を伸ばし、襟を正す』というような精神的な心のよりどころとして、これからも看板に恥じる事のない仕事を自らに課し、会の発展のために僅かでもお役に立てればと思っております。

鮨金 札幌店 松橋保明

行  
鮨  
研  
會  
事



平成10年4月2日  
札幌鮨研究会15周年  
《於:北海道神宮》



The 15th anniversary of April 2, 1998  
Sapporo sushi study group

平成15年7月16日

全国すし研究会  
北海道大会in札幌

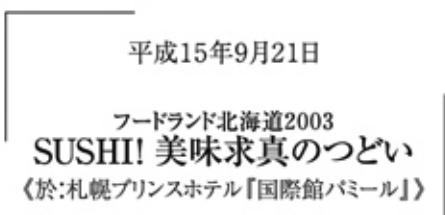
《於:札幌プリンスホテル「国際館パミール」》

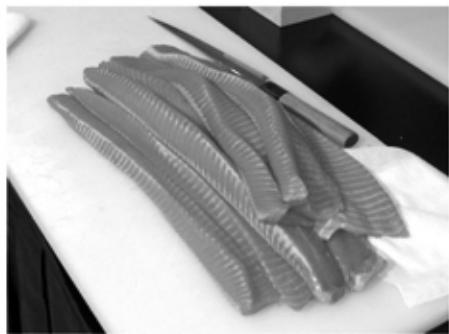


「あなたのために、にぎります！」  
**第23回全国すし研究会 北海道大会 in札幌懇親会**



The 23rd time  
National sushi study group Hokkaido convention in Sapporo





Food Land Hokkaido 2003



●イベント当日は午後1時から仕込みに取り組みました。職人は50人、お客様は500人。お客様おひとりが25貫の寿司を召し上がるごとを想定すると、合計1万2500貫を握らなくてはなりません。単純計算では、ひとりの職人が250貫握ることになります。まずは開場前にお客様をお迎えする『1皿(6貫入り)×500人分=3000貫』を用意しました。

Visitor coral attendance





Food Land Hokkaido 2003





●「すし関」の関口大将の「宴もたけなわではございますが、お楽しみ抽選会のお時間がやってきましたっ!」という元気な声で始まった抽選会。1等は3万円のすし券とあって、会場は大いに盛り上りました。それにしても関口大将の司会は「お見事!」のこと。プロも顔負けのナイスなMCに、お客様だけではなく関係者からも拍手が沸き起きました。



Pleasure lottery





## 会員名簿

鮨 研  
会員和  
食文化  
ビトアカデ

氏名	店名	〒	住所	電話
今井 嶽	金寿司	060-0032	札幌市中央区北2条東7丁目	221-2808
及川 敬之	寿しの及川	064-0806	札幌市中央区南4条西6丁目	251-6921
工藤 俊一	帆掛鮨	064-0917	札幌市中央区南17条西9丁目1-40	511-1451
齊藤 明	すし屋のさい藤	064-0806	札幌市中央区南6条西4丁目 プラザ6・4ビル1階	513-2622
齊藤 守正	すし六	064-0805	札幌市中央区南5条西5丁目 すすきの通り	531-5616
佐藤 裕一	鮨栄	060-0063	札幌市中央区南3条西5丁目	222-5161
宍戸 弘志	寿し元 南店	064-0919	札幌市中央区南19条西11丁目2-22	551-6533
嶋宮 勤	すし善	064-0821	札幌市中央区北1条西27丁目	612-0072
関口 博	すし関	064-0805	札幌市中央区南5条西4丁目 パッカスビル1階	531-1116
竹田佐登志	すし処 たけ田	064-0806	札幌市中央区南6条西4丁目 ポプラビル1階	532-0189
武山 瞳夫	瞳鮨	064-0805	札幌市中央区南5条西3丁目 ニューすすきのビル1階	532-9585
谷口 弘一	鮨かね	064-0809	札幌市中央区南9条西14丁目2-22-1階	551-8066
富永 裕美	東寿し	064-0804	札幌市中央区南4条西3丁目	261-7161
豊田 由夫	柳寿し	064-0805	札幌市中央区南5条西8丁目6	521-2543
中井 蔚	日本橋	047-0032	小樽市稲穂1丁目1-4	0134-33-3773
中峰 信二	寿司処 握なかー	047-0031	小樽市色内1-10-1	0134-24-1777
中村 勝俊	おたる政寿司 すすきの店	064-0807	札幌市中央区南7条西3丁目	511-0440
中村 全博	おたる政寿司 本店	047-0024	小樽市花園1丁目1-1	0134-23-0011
原 良一	大和屋	060-0001	札幌市中央区北1条西2丁目	241-0760
福士 四郎	鮨の福長	064-0804	札幌市中央区南4条西6丁目	241-1038
船引 孝司	久米鮨	064-0805	札幌市中央区南5条西3丁目 五条ビル地下1階	511-1358
町野 太郎	まちの寿司	047-0024	小樽市花園1丁目1-4	0134-25-3430
松橋 保明	鮨金 札幌店	064-0804	札幌市中央区南4条西4丁目 松岡ビル1階	251-9521
丸岡 富造	すし丸	064-0807	札幌市中央区南7条西5丁目	531-7644
山田 弘	すし屋のやまと	064-0805	札幌市中央区南5条西4丁目 第20桂和ビル1階	512-2622

List of members

# 札幌鮓研究会



## 札幌鮓研究会20周年祝賀会

- 日時／2003年11月30日(日)午後8時から
- 会場／札幌プリンスホテル『国際館パミール』



発行日——平成15年11月30日

発行・編集人——富永裕美／中村勝俊／山田 弘

発行所——札幌市中央区南7条西3丁目「おたる政寿司 すすきの店」内

札幌鮓研究会

制作——納谷理美子

印刷所——凸版印刷株式会社

# 札幌鮓研究会新年交礼会

札幌鮓研究会



祝  
還暦  
おめでとう!





20 years after that...



札幌鮭研究会  
20周年記念誌  
**KIZAHASHI**